

氏は婦人同盟組織不必要論の理由として、

一、現生一般(無組織)無産婦人の状況から見、二、若無産団体の内部に於ける——評議會をも含む——の無力不治^{状態}を見、三、左翼団体の孤立的形成に見、四、三項目を挙げられて居る、だが然し氏のかゝる幼稚ある組織論の錯誤は、政治闘争と経済闘争との関係を正當に認識される結果にある。従つて氏の方法論上に於ける立脚地は所謂俗学主義にある、この俗学主義の故に氏を脱して現象の無産^{階級}則的追随主義に赴かせろ

日本特殊の國情の結果として、婦人の特殊的地位とそれに伴ふ特権的心理の根柢を思ふとき、時々場合によつては独立婦人団體を作つた方が其の